



丹波山村  
地域おこし協力隊

9月の新隊員紹介！



9月2日に役場での委嘱式に参加した天城裕太さん（24歳）。神奈川県川崎市出身で、以前はハウスメーカーに勤務していました。しかし、職場での希薄な人間関係に疑問を感じ、もっと人間らしいコミュニケーションで暮らしたいと考えるようになり、農業関係の検索サイトを見るなどして地方移住を検討していました。今回、地域おこし協力隊という制度を利用して念願の地方移住を実現しました。

丹波山村では、空き家の残置物処理や古民家リノベーションなど、村の活性化に繋がる様々な活動に取り組んでいく予定です。また、インスタグラムやTikTokといったSNSを積極的に活用して、若い世代に向けて丹波山村の魅力を発信し、自分のような若者が、地方で暮らせる姿を伝えていきたいと話していました。

## 天城裕太さん着任挨拶

都会の喧騒から離れ、この美しい自然の中で新しい生活を始められることをとても楽しみにしています。丹波山村の皆さんと力を合わせ、村を一緒に盛り上げていきたいです。特に、若い世代に丹波山村の魅力を発信し、多くの人に来ていただけるような村づくりをしていきたいです。

やったことはありませんが、釣りに興味があります。釣りを教えていただける方がいたら、ぜひ声をかけてください！

{元協力隊員になりました}

# 樋口雅紀さん

”  
これからも  
丹波でマルチワーカー  
として頑張ります。

## 消防団

## 協力隊卒業



# マ ジ ン グ ロ

### 村民の皆様にご挨拶

2024年8月で地域おこし協力隊を卒業となりました。今、振り返ってみると、この3年間はあっという間に過ぎてしまったように感じます。横浜という海から丹波山村の山に移ってきて環境が全く違う中でも村の皆さんの優しさが本当に身に沁みながら過ごせました。



## 福祉



## IT講師

この村に来て一番辛かったのは花粉です。山に囲まれ、春にはスギ花粉があり得ないほど飛び、ヤクルト1000を飲み続けたにも関わらず、この過酷な環境には勝てませんでした。それも飲み過ぎの影響で脂肪肝になっているせいかもしれません（笑）

## 獅子舞



## たこやき 職人

卒業後も丹波山村での活動を中心に過ごしていきます。春は都会でJavaのIT講師を続け、夏から冬は丹波山村内の各事業所で働かせて頂きます。

2拠点生活を通しながら、丹波山村との関わりを続けながら過ごしていきますので、どうぞこれからもよろしくお願いいたします。本当に皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。